

# 石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト競技フロー

別紙 1

実施項目		審査範囲	実 施	要 領
集合・整列・点呼	中隊長		集合指揮位置に立ち、「集まれ」の号令をかけ全隊員を待機線に集め整列させ、「番号」の号令により点呼を実施する。 点呼実施後、「整列休め」の号令により全隊員を待機させ、中隊長待機位置へ移動し整列休めの姿勢で待つ。	
	小隊長		各隊員は、待機線上に小隊ごとに並び、別図1-1または別図2-1ように集合・整列する。	
	各隊員		中隊長の「番号」の号令により隊員等は、順次各自番号を呼唱する。 中隊長の「整列休め」の号令により隊員等は、整列休めの姿勢で待機する。 ※省力化を図っている事業所については、それぞれに対応させるものとする。	
開始報告	中隊長	↑ 行動審査範囲	審査長が、審査長定位へ移動を始めたなら、基本の姿勢をとり、「気をつけ」と号令する。	
	審査長		審査長定位で「開始報告」と号令する。	
	中隊長		半ば左向け左をし、報告位置まで、かけ足進行の要領で発進し、審査長に挙手注目の敬礼を行い、「〇〇自衛防災組織（〇〇共同防災組織）、放水訓練を開始します。」と報告し、挙手注目の敬礼を行った後、やや度の深い右向け右をし、中隊長指揮位置に至る。 中隊長指揮位置で「乗車」と号令し、全隊員が乗車したのを確認後、自らも乗車する。	
	各隊員		中隊長からの「乗車」の号令を受け「よし」の呼唱とともに、車両に乗車する。 ※大化高が、シングルキャブ仕様の場合、定員を超える隊員は、「乗車」の号令後、車両の助手席側に折り膝姿勢で待機し、助手席から小隊長の下車を確認した後、競技を開始する。	
	小隊長		自隊員（中隊長も含む）の乗車を確認後、「エンジン始動」と号令する。	
	各機関員		小隊長からの「エンジン始動」の号令に対して、「エンジン始動」と復唱し、エンジンを始動させる。	
競技開始	審査長	↓ 計時審査範囲	2台の車両のエンジンが始動したことを確認し、「操作はじめ」と号令し、同時に計測を開始する。	
競技・放水			競技要領に基づく競技を実施、審査については審査票参照	標準時間 5分00秒
	審査長		継続的な放水を確認できた時点で、計時を止める。	
	機関員		継続的な放水かつ車両の流量計で2,000ℓ/minを確認後、「放水量よし」と各隊長に報告し、想定火点方向へ放射砲を向ける。	

放水停止	中隊長	行動 審査 範囲	想定火点への放水を確認できたら、「放水やめ」と下命する。
	各小隊長 各隊員		各小隊長は、中隊長の「放水やめ」の号令を確認した後、「放水やめ」と呼唱する。 機関員は、「よし」と呼唱し、ポンプの回転数を徐々に下げて放水をやめる。
	審査長		放水停止を確認後、「操作やめ」と号令する。
	中隊長		審査長の「操作やめ」の号令を受けた後、中隊長指揮位置に至り、「おさめ」と号令する。
	各隊員		中隊長の「おさめ」の号令に対し、「よし」と呼唱し、消火栓の閉止、ポンプの停止及び各車両のエンジンの停止を行い、待機線に集合する。
点 検	中隊長	集合指揮位置に移動し「点検報告」と号令し、各隊員からの点検報告を受ける。	
	各隊員	全隊員は、図1-5または図2-5のように整列し、点検報告を実施する。	
終了報告	中隊長	点検報告後、「整列休め」の号令をかけ、自らも中隊長待機位置へ移動し、整列休めの姿勢で審査長の『終了報告』の号令を待つ。	
	隊員等	中隊長の「整列休め」の号令により整列休めの姿勢で待機する。	
	中隊長	審査長が、審査長定位へ移動を始めた後、基本の姿勢をとり、「気をつけ」と号令する。	
	審査長	審査長定位で「終了報告」と号令する。	
	中隊長	半ば左向け左をし、報告位置まで、かけ足進行の要領で発進し、審査長に挙手注目の敬礼を行い、「〇〇自衛防災組織（〇〇共同防災組織）、放水訓練を終了しました。」と報告し、挙手注目の敬礼を行う。	
解散	中隊長	審査長が審査長定位から離れた後、回れ右をし、待機線で整列している各隊員に「わかれ」と号令し、各隊員を解散させる。	
	各隊員	中隊長の「わかれ」の号令により、一斉に中隊長に相対し挙手注目の敬礼を行い解散する。	

※省力化が図られている組織については、その事業所の実態に合わせるが、中隊長及び各車両の機関員は、専任とするものとする。